

平成21年2月

# 白谷 卓 学位論文審査要旨

主 査 西 村 元 延  
副主査 池 口 正 英  
同 久 留 一 郎

## 主論文

Hypertension accelerated experimental abdominal aortic aneurysm through upregulation of nuclear factor  $\kappa$ B and Ets

(高血圧はnuclear factor  $\kappa$ B と Etsのアップレギュレーションを介し腹部大動脈瘤の進展を促進させる)

(著者：白谷卓、三和健、青木元邦、三宅隆、大石雅子、片岡和三郎、應儀成二、  
荻原俊夫、金田安史、森下竜一)

平成18年 Hypertension 48巻 628頁～636頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、腹部大動脈瘤の拡大における転写因子NF $\kappa$ BおよびEtsの活性化の関与、およびそれら転写因子と高血圧との関係に注目し、高血圧ラットの腹部大動脈瘤モデルを用いて、腹部大動脈瘤進展の機序を検討するとともに、高血圧下においてもこれら転写因子活性の阻害が瘤進展を抑制しうるかについて検討したものである。その結果、高血圧が腹部大動脈瘤の進展を助長させることが示され、その機序として、転写因子NF $\kappa$ BおよびEtsの活性亢進が介在していることが示唆された。またこれら転写因子の活性を抑制することにより、高血圧下においても腹部大動脈瘤の進展を抑制しうることが示された。本論文の内容は、腹部大動脈瘤に対する新しい治療法の可能性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。